

おかやましがいこくじんしみんかいぎだい き  
岡山市外国人市民会議（第3期）

ニュースレター No.2

へんしゅう はっこう おかやまししみんきょくこくさいか ねん がつはっこう  
編集・発行：岡山市市民局国際課 2012年5月発行

<http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/index.html>

だい かいかいぎ かいさい  
～第2回会議を開催しました～

にだい けつてい  
二大テーマ決定！

- ぎょうせいじょうほう たげんごか  
1. 行政情報の多言語化と  
がいこくじん じょうほうでんたつ かくほ  
外国人への情報伝達ルートの確保
- ぼうさいたいさく さいがいじしえん じゅうじつ  
2. 防災対策・災害時支援の充実

かいさいにちじ ねん がつ にち にち ごごじ  
【開催日時】 2012年3月18日（日）午後2時から

ば しょ おかやましきんろうしやふくし かい ちゅうかいぎしつ  
【場所】 岡山市勤労者福祉センター4階 中会議室

- ない よう  
【内容】
- （1）テーマの選定等について
  - （2）会議の運営スケジュール等について
  - （3）その他
    - あら ざいりゅうかんりせいど どうにゅう  
・新たな在留管理制度の導入について  
（岡山市北区市民保険年金課より説明）
    - おかやましちいきぼうさいけいかく  
・岡山市地域防災計画について  
（岡山市防災管理課より説明）
    - じ かいかいさいについでい  
・次回開催日程について

おも いけん  
<主な意見>

- ◎昨年の東日本大震災を受け、外国人にとっても防災は重要な課題。
- ◎災害が起こった時、言葉に不自由な外国人はどこに行ったらいいか、誰に聞けばいいか、どうすればいいかが分からない。外国語のチラシをたくさん作るだけではなかなか見ない。情報伝達の方法やルートを明確にするべき。
- ◎各外国人団体に情報を伝達し、そこから各会員へ伝達するのが効率が良い。

- ◎同胞団体が存在しない国、団体に加入していない人もいる。Facebook等、インターネットも有効な情報 伝達ツールである。
- ◎行政 情報を多言語化し、情報を発信するための在住 外国人の育成が必要である。
- ◎岡山は災害の少ない地域で、在住 外国人の防災意識は薄い。防災情報の資料をもらっても読まない。町内会 からも情報は伝わってこない。学校なら定期的に防災訓練があるが、社会人は機会がない。
- ◎災害マニュアル・危機管理意識は国によって異なる。災害の少ない岡山で、日本人に対しても防災意識を啓発するのは難しいのに、外国人に対してはなおさらのこと。
- ◎地域で開催される防災訓練への外国人の参加率はきわめて低い。町内会 等と連携して、外国人にも参加してもらう方法を考えるべき。
- ◎東京 で東日本大震災に被災した時、公衆 電話が無料で開放されたのが大変有難かった。避難情報を誰でもわかる場所に掲示したり、携帯サイトに載せることは有効。
- ◎この外国人市民会議のメンバー（OB を含めて）でボランティア団体を組織し、外国人への防災情報や伝達方法を充実させる活動ができるか。市民会議メンバー以外にも、地域在住 の外国人を活動の輪に巻き込みたい。

じかい かいぎないよう  
 < 次回の会議内容 >

- (1) 岡山市の行政情報多言語化の現状説明
- (2) 行政情報の多言語化について（課題と解決策）
- (3) 情報伝達手段について（課題と解決策）

だい かいかい ぎ かいさいにち じ  
**■ 第3回会議開催日時について**

ねん がつ にち にち ご じ  
 2012年5月20日（日）午後2時から

おかやましやくしょ かい ちゅうかいぎしつ  
 岡山市役所7階 中会議室

といあわ  
**■ 問合せ**

じ む きょく おかやまししみんきょくこくさいか  
 事務局：岡山市市民局国際課

TEL 086-803-1112

FAX 086-225-5408